⑵　減損の認識に至った経緯
　上記電話加入権については、平成20年３月時点の帳簿価額と比べ、平成21年３月時点における市場価額が50%以上下落しており、市場価格の回復は見込まれないことから、減損を認識した。
⑶　減損額の内訳

（単位：円）

種　　類	損益計算書計上額	損益外計上額
電話加入権	—	350,000

⑷　回収可能サービス価額の算定方法
　回収可能サービス価額は、正味売却価額（相続税評価額に基づき算出）と使用価値相当額（再調達価額）を比較し、正味売却価額を採用した。

（単位：円）

正味売却価額	使用価値相当額
350,000	262,500

２．減損の兆候が認められた資産
⑴　用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

名　称	用　　途	種類	場　　所	帳簿価額
府中寮	職員宿舎（単身用）	建物	東京都府中市	882,000
小金井寮	職員宿舎（単身用）	建物	東京都小金井市	950,000

⑵　認められた減損の兆候
　上記２棟の職員宿舎については、近隣の住宅事情の変化等に伴い入居希望が減少し、利用率が低下（府中寮：48%、小金井寮：39%）したため、減損の兆候が認められた。
⑶　減損を認識するには至らなかった根拠
　当該建物については、当期に初めて利用率が低下したものの、維持・保守管理を恒常的に行っており、今後の利用率の向上が見込まれるため減損を認識しない。

（重要な債務負担行為）

（単位：円）

契　約　件　名	契約金額	翌年度以降の支払予定金額
農学部４号館他改修電気設備工事	80,085,000	80,085,000
大学Webサイトの構築	12,000,000	12,000,000
農学部４号館改修工事に伴う仮設建物賃貸借	16,800,000	16,800,000
無菌マウス飼育装置	48,499,500	48,499,500
マウス飼育設備	19,590,000	19,590,000

（重要な後発事象）
　該当なし

附　属　明　細　書

１．固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘　要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建　　物	12,194,058,716	211,496,858	11,917,939	12,393,637,635	3,477,274,015	631,269,055	—	—	—	8,916,363,620	
	構　築　物	1,019,156,402	—	47,730	1,019,108,672	739,335,208	21,495,842	—	—	—	279,773,464	
	機械装置	399,242,447	53,811,540	11,659,376	441,394,611	372,532,359	16,278,755	—	—	—	68,862,252	
	工具器具備品	211,773,209	3,270,500	21,787,728	193,255,981	123,684,218	29,320,740	—	—	—	69,571,763	
	船　　舶	1,194,000	—	—	1,194,000	1,193,996	—	—	—	—	4	
	計	13,825,424,774	268,578,898	45,412,773	14,048,590,899	4,714,019,796	698,364,392	—	—	—	9,334,571,103	
有形固定資産（特定償却資産外）	建　　物	464,688,276	529,238,624	11,871,713	982,055,187	148,140,992	45,521,226	—	—	—	833,914,195	
	構　築　物	261,624,776	35,248,439	—	296,873,215	72,563,716	17,509,664	—	—	—	224,309,499	
	機械装置	2,623,915,588	534,241,246	87,923,439	3,070,233,395	2,290,506,472	462,037,208	—	—	—	779,726,923	
	工具器具備品	2,136,063,846	413,697,250	75,861,718	2,473,899,378	1,568,580,598	435,492,785	—	—	—	905,318,780	